

**令和6～9年度（2024～2027年度）使用
小学校教科用図書採択種目・発行者について**

種 目	国語	発行者	光村図書出版株式会社
<ul style="list-style-type: none"> 全教材をとおして言葉に着目し、語句を増やし、五感を磨き、日常生活に生かせるよう配慮している。 物語文が充実しており、児童自らが創造的な読み方をするにより、児童がじっくりと読み味わい、自らの問いを起点に学習を進めることができる。 日常生活においても自ら進んで本を手取る意識を育むことを意図して、各学年の巻末付録に「本の世界を広げよう」を設け、学年に適した本を、表紙写真、紹介文とともに提示している。 日常生活における人との関わりの中で思いや考えを伝え合う力や、論理的に思考し豊かに想像する力を高めることができる。 			
種 目	国語（書写）	発行者	光村図書出版株式会社
<ul style="list-style-type: none"> 手で文字を書く文化を次世代につないでいくことをねらいとし、美しい文字を丁寧に書くことの大切さを伝えている。 点画の書き方の特徴をキャラクターの動きとオノマトペを活用し、筆使いを直感的にイメージできるよう工夫している。 手本と同じページに書き順が示されており、児童に分かりやすい紙面構成になっている。 左手で書く時の手や用具の位置を示した写真を掲載している。また、二次元コードから教科書紙面や動画を見ることができる。 			
種 目	社会	発行者	教育出版株式会社
<ul style="list-style-type: none"> 「つかむ・調べる・まとめる・つなげる」の学習の流れが、社会科の探究的な学びのサイクルとしてふさわしく、学んだことを社会生活に生かそうとする学習活動の展開が期待できる。 日本の歴史と世界の歴史が並列されており、国際的な視点で考える力の育成が期待できる。 写真や図を効果的に用いて、実際に調べたり見学したりする興味をもてるような工夫がされている。また、身近な文化や産業についての掲載がある。 様々な立場の人や複数の児童の意見を伝える場面が設定されており、複数の視点で物事を捉えることができる。 			
種 目	地図	発行者	株式会社帝国書院
<ul style="list-style-type: none"> 地形や気候、隣国との関係、産業等の相互の関係について捉えやすく、様々な条件が関係していることを考慮することができる。また、過去の地図との比較ができる。 「地図帳の使い方」では索引の使い方や縮尺について、「地図マスターへの道」では交通網、産業等についての理解が深まるよう工夫されている。 色使いや資料の分量が良く、地形の特徴や高低差を想像しながら見ることができる。 持続可能な社会の実現に向けた各地の課題や取組が理解できるよう、SDGsの特設ページを設けている。 			
種 目	算数	発行者	学校図書株式会社
<ul style="list-style-type: none"> 単元のはじめに、自分たちで課題を発見する場面を設定して、主体的に課題を解決する活動をイメージしやすくしており、算数に対する苦手意識を持たないような工夫がされている。 「考え方モンスター」というキャラクターを使って、見方・考え方を働かせながら、楽しんで学習を進められるよう工夫している。 「できるようになったこと」を設け単元内で扱った知識や技能の定着を図るとともに、巻末に「ほじゅう問題」を設け学習を補完するなど、できるようになったことを次の学びに生かしていくよう工夫されている。 身に付けた知識・技能を、日常生活の中で生かそうとする課題設定がされている。 			

種 目	理科	発行者	東京書籍株式会社
<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の各段階を1本のラインで結び、学びのラインに沿って児童が見通しをもって学習できるよう工夫されている。また、単元の導入部分では、既習事項がイラストや写真を使って楽しくまとめられていて、既習事項を復習しやすい構成になっている。 ・各単元の終わりの「理科の世界 探検部」という学んだことをさらに深めるページでは、インタビュー内容が掲載され、その単元の学習が社会のどのようなことに関連しているのか学びを深め、理科を身近に感じることができる。 ・実験の結果を予想することで、科学的な視点での学びを引き出そうとしている。また、「考えよう」のコーナーでは、学習内容を踏まえて自然の事物・現象について考えられる工夫をしている。 			
種 目	生活	発行者	教育出版株式会社
<ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方として、意欲を喚起する「わくわくスイッチ」、気付きを促す「はっけんロード」、振り返りを促す「ぐんぐんはしご」を設け、学び方を身に付けながら主体的に学べるよう工夫されている。 ・学び方をナビゲートするキャラクターの具体的な問い掛けにより、子どもの気付きの質を高めるように配慮されている。 ・飼育・栽培等の体験な活動、試行錯誤を繰り返す創造的な活動、多様な人々と交流する協働的な活動が数多く設けられており、「ひと・こと・もの」との関わりによって社会力の育成を目指す本市の教育指導の重点と合致している。 			
種 目	音楽	発行者	教育出版株式会社
<ul style="list-style-type: none"> ・音階や和音の響きの違いを体の動きを使って感じ取れるように絵で示すなど、児童が音楽を好きになる、楽しみながら歌唱や演奏について学ぼうとすることを目標に編修されている。 ・鍵盤ハーモニカやリコーダーは、新出音も緩やかに段階を追って扱われ、楽器演奏に苦手意識がある児童にも配慮されている。また、鍵盤ハーモニカの写真が実物大で示されている。 ・共通教材では、我が国の文化や風土を大切にすることに重点を置き、見開きの大きな写真や解説が掲載されている。 			
種 目	図画工作	発行者	日本文教出版株式会社
<ul style="list-style-type: none"> ・造形、絵画、立体、工作、鑑賞の5領域がバランス良く配置されている。また、1年間の流れに沿った行事や季節に応じた題材を選択できるよう配慮されている。 ・児童一人ひとりが自分に適した表現方法や材料、用具等を選ぶことができるよう、題材ごとにさまざまな表現方法を提示している。 ・鑑賞の学習では、想像を広げられるように配慮した問い掛けがあり、児童の感性に働き掛けて能動的な鑑賞活動を促している。また、見て感じたことを交流する言語活動の充実にもつなげようとしている。 			
種 目	家庭	発行者	開隆堂出版株式会社
<ul style="list-style-type: none"> ・単元数を多く設定し、スモールステップによる着実な知識・技能の習得を目指した編修がされている。また、各単元では「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」の3つのステップで題材を構成し、課題解決的な学習に取り組めるようになっている。 ・見開きページを使って製作手順や調理手順などを配置することにより、流れを意識することができる。また、背景に色を付けたり、写真ではなく絵にしたりすることで、色のメリハリがついて分かりやすくなっている。 ・調理や製作実習を安全に行うために特設ページを設けたり、「安全」マークなどで注意すべきことを分かりやすく示したりしている。 			

種 目	保健	発行者	株式会社 Gakken
<ul style="list-style-type: none"> 単元のまとめに「明日につなぐ」という項目があり、学習したことを生かす工夫や中学校への接続を意識した編修となっている。 「かがくの目」「ほけんのはこ」など、科学的な資料やことばの説明、関連する情報などが記載されており、健康な生活を送るために必要な知識が多く掲載されている。 イラスト・写真が分かりやすく、分量も適切であり、男女の性、外国にルーツのある子など、固定的なイメージでの表現にならないよう、多様性を尊重したものになっている。 学習したことを家庭や地域で確かめたり調べたりする「おうちで」「ちいきで」や SDG s に触れており、日常生活や社会との関連を図りながら学習を進めることができる。 			
種 目	英語	発行者	光村図書株式会社
<ul style="list-style-type: none"> 児童が「伝えたい」と思えるような目的、場面、状況が設定されており、自分の考えや気持ちを表現する活動を単元を中心に設定している。また、状況設定や場面設定が細かく、アウトプットの練習を重視した内容となっている。 2 学年を通して、教科書が一貫したストーリーになっている。単元冒頭にアニメーションの動画が用意されており、コミュニケーションの目的や場面、状況が分かりやすくなっている。 「Let's watch and think」で各国の小学生が文化を紹介する内容を取り上げている。「世界の友達」で、各国の小学生の考えや暮らし方について紹介している。「言葉について考えよう」で、日本語と英語についての説明があり、違いに気づかせる内容になっている。 			
種 目	道徳	発行者	株式会社光文書院
<ul style="list-style-type: none"> 各題材が「かんがえよう」「まとめよう」「ひろげよう」の3つの要素で構成され、児童自ら問いをもって授業に臨むことの重要性を踏まえた設問（導入）の工夫をしている。 二つの「考えよう」の問いかけを設置し、ねらいに迫る視点からの問いかけと、多面的・多角的に考えられるような問いかけの工夫があり、議論を深めるための仕掛けがある。 キャラクターが、共感や気づき、考えるためのポイントや考えを広めるための見方など、様々な「問いかけ」をしている。また、児童の多面的・多角的な思考を促している。 			